

高等部 1 年

進路学習の流れ

○高等部 1 年 前期

一般就労を希望

福祉サービスを希望

4 月～5 月 「進路の手引き」「栗原地域の福祉施設」を配布

教育相談の中で、担任から保護者の方に資料の説明があります。自分でも一度確認しておきましょう。また、将来どんな力を身に付けたいのか、頑張りたいのかについても確認します。

5 月 進路希望調査配布

進路の手引きなどの資料を参考にしながら、現時点での進路先について確認をします。保護者の人とよく相談しましょう。資料の中でよく分からないことは、先生にどんどん質問しましょう。

6 月

総合（進路学習）

進路学習とは何か、卒業後の進路先はどのように分かれているのか、働くにはどんな力が必要なのか、栗原市にはどんな施設や企業があるのか等について学びます。

職場見学

企業を訪問し、実際に仕事をしている様子を見学します。説明をしてくれる担当者の方の話を聞き仕事をする上で、どんな力が必要なのか、気を付けることは何か、どんなルールやマナーがあるのかしっかり学びましょう。

校内実習

校内で2週間、会社で扱っている組立作業（段ボール組立やウレタン剥がし等）の受託作業を行います。体験とは違います。自分も社員の一員になったつもりで取り組んでください。もちろん、実習で組み立てられた製品は、商品として世の中に出ていく物です。不良品を出さないよう、真剣に責任を持って取り組みましょう。

2週間全員休まず協力して取り組めるといいですね！

7 月～8 月

授業参観（個別面談）・進路希望調査

担任と保護者の方で実習の取組の様子や、後期現場実習について相談をします。夏休みを使って、保護者の方とどんな所で働いてみたいかじっくり考えてみましょう。

8 月 職場施設見学

栗原市又は近隣の企業を見学します

栗原市又は近隣の施設を見学します

○高等部1年 後期

一般就労を希望

福祉サービスを希望

9月 現場実習の申し込み

10月 現場実習

協力企業や施設において、2週間の実習を行います。事前の進路学習では、実習でのマナーや困ったときの対応の仕方、実習日誌の記入の仕方について学習します。実習に落ち着いて取り組めるようしっかり学習に取り組みましょう。

① 実習先への挨拶伺い

担任、保護者、本人で実習先に挨拶に行きます。自己紹介や実習の目標を大きな声ではっきりと伝えるようにしておきましょう。



② 2週間の実習スタート

勤務時間、服装、実習日誌など持ち物の確認をし、体調を整えて頑張りましょう。また、自宅に着くまでが実習です。学校に報告の電話を入れる予定の人は、自宅に着いたら、忘れずに掛けましょう。

※自力または保護者送迎での通勤になります。一般就労を希望している人は、市民バスの利用の仕方についても調べておきましょう。



③ 反省会

実習先の担当者と担任、保護者、本人で実習の反省会を行います。成果と課題を確認し、次回の実習までに改善できるようにしておきましょう。(実習先から実習の様子の評価もいただきます。)



④ 実習のまとめ

実習日誌や反省会を思い出しながら、成果と課題をまとめましょう。また、お世話になった実習先宛てに「お礼状」を書きます。感謝の気持ちが伝わるよう丁寧に書きましょう。

2月 授業参観（個別面談）

後期現場実習の成果と課題について担任と保護者で確認し、進路の方向性について相談します。

2月～3月 進路面談

進路指導の先生、担任、保護者、本人とで後期現場実習の振り返りをしながら現時点での進路の方向性について相談します。また、2年次の実習先の希望を確認しますので、どんな所で実習をしたいのか、考えておきましょう。